

みやけの風

第 158 号

平成16年(2004年)1月17日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

1月10日、ジャック・T・モイヤー先生が亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

みんなの声

南郷町よりエールが届きました！

三宅島災害・東京ボランティア支援センターの皆様、いつも「みやけの風」をお送り下さりましてありがとうございます。昨年7月～8月の宮城県北部連続地震の折には、泊まりこみで支援をいただき誠にありがとうございました。

南郷町社協の玄関に張ってある「三宅島からの寄せ書き」を、今、改めてみております。三宅島社会福祉協議会、三宅島島民連絡会、三宅島災害・東京ボランティア支援センターのみなさんからのメッセージです。

三宅島島民連絡会会長佐藤就之様の「共にガンバりましょう。」、三宅島社会福祉協議会大木様の「心身ともに疲労がたまりません。お体に気をつけて下さい。」など、など……。災害を経験したり、それにかかわった方からの身につまされるものばかりです。

南郷町では、表面的には屋根のブルーシートの数も少なくなり落ち着いたように見えます。でも高齢者宅では被災家屋を新築したり補修したくてもローンが適用できず、

そのままになっていたり、壊れかけた物置や作業場に住んでいる人もいます。雪の降る日は、どんなにか寒いだろうと思います。仮設住宅は20世帯分満杯です。

私ごとですが、南郷町災害救援ボランティアセンターを開設中は、気の張りもあって何とか元気にやっていたましたが、自宅の解体や大工さんとの交渉などで思いがけず疲れがたまり、まいってしまいました。わずか数ヶ月の復旧作業の疲れがこの状態です。

三宅島のみなさんは、4年にも及ぶ仮住まいで経済的にも精神的にもお疲れのことと存じます。風邪をひかれませんように十分注意なさって下さい。緑豊かな故郷の島へ早く帰れますよう陰ながら祈っております。

三宅島災害・東京ボランティア支援センターや三宅島社協の方々、島の人々の心をつなぎ、元気づけのいろいろな手だてを実行し、支援なさっているご苦労に敬意と「健康第一、笑顔も第一」（当地地震の折の合言葉）のエールをお送りいたします。

（南郷町社会福祉協議会会長 佐々木 工）

東京ボランティア・市民活動センターより

副所長 安藤雄太

三宅島のみなさん、いかがお過ごしですか。

早いもので、全島避難してから四回目のお正月をむかえることになりました。昨年のふれあい集会においても、帰島の期日の確約はありませんでしたが、それに向けて大きく動き出したことを実感しました。

しかし、帰島してからも、家のこと、仕

事のこと等々、沢山の課題がありますが、「帰島できてよかったね」という声が一日でも早く聞かれることを多くの人が待っています。

東京ボランティア・市民活動センターも、微力ながら一緒に歩いていきたいと思えます。碧い海を見る日に向けて。

三宅村・新成人に対するメッセージ

作家 青山 侑

自分の内心に聞いてみるのが一番

人生において、誰でも道に迷う事があります。そういうときに、いろいろな人の意見を聞くことは大切です。しかし最後の結論は自分で出さなければなりません。自分の人生は自分の責任と自分のリスクで切り拓くものです。

そのことを、高村光太郎は、「僕の前に道はない。僕の後には道はできる。」と表現しました。日本の彫刻を芸術にまで高めた彼の業績は、そういう強烈な自負から生まれました。

第二次大戦でイギリスを勝利に導いたウィンストン・チャーチルの先祖に、ジョン・チャーチルがいます。十八世紀の人です。下層の出身ですが飛躍的な出世をして社交界にデビューしたとき、古参の人から「君の先祖は誰？」とからかわれました。ジョンは「私が先祖だ」と答えました。そのとおり、彼の子孫が首相になったわけです。

自分の内心に聞いてみて納得のいく道を選び、目標に向けて苦勞に耐える、そういう人生をみなさんに期待します。

＜お 知 ら せ＞

帰島に際して必要と考えられる対策や課題についての検討が進められております「三宅島帰島プログラム準備検討会」の中間報告が、平成十六年一月一日付けの広報「みやけ」に同封されています。また、三宅村では、この中間報告について別添用紙でご意見やご要望を受付けています。

なお、ご意見やご要望を記入された（「三宅島帰島プログラム準備検討委員会中間報告」に関する意見・要望等について）用紙は、郵送もしくはFAXでも受け付けています。

送付先：三宅村新宿総合事務所 総務課庶務係

住所：〒160-8001新宿区西新宿2-8-1東京都庁第一本庁舎南側41階

FAX：03-5288-1603 番号をお間違えのないようにご注意ください

神戸から届けられた“希望の灯り”を、一人一人の手の中で、ともします。
1995年1月17日午前5時46分のあの時を思い出しながら



日時：2004年1月17日(土)14:00～18:00 場所：東京国際フォーラム地上広場

主催：東京災害ボランティアネットワーク

なんでやるの？灯りのつどい

ボランティア活動や自主的な防災活動への認識を深めてもらいたい

東海・東南海地震・首都圏直下型地震など来たるべき災害に備える気持ちを新たにしたい

阪神・淡路大震災によって、“いのち”と“くらし”を奪われた犠牲者の冥福を、祈りたい